

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |            |         |             |                |                  |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|---------|-------------|----------------|------------------|
| 入 試<br>年度                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 2026 年度    | 入 試 時 期 | Ⅱ 期 入 学 試 験 | 実 施 日          | 2026 年 2 月 24 日  |
| 課 程                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 博士前期課程     | 研 究 科   | 文学研究科       | 専 攻 ・<br>コ ー ス | 臨床人間学専攻教<br>育学専修 |
| 入 試<br>方式                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 外国人留学生入学試験 |         | 試 験 科 目     | 日本語            |                  |
| 「解答」または「解答例」及び「出題の意図」                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |            |         |             |                |                  |
| 【解答】 or 【解答例（採点時の観点）】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |            |         |             |                |                  |
| [ 1 ]                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |            |         |             |                |                  |
| ( 1 )                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |            |         |             |                |                  |
| <p>【A】子育て期の女性たちが公民館での学びを経験して、他者から与えられるだけの学習観、知識を得るだけの学習観を否定し、なかまの中で意見を交わして自分の考え方が変わること、発言することによって自分が変わることを実感している。これらは学校教育で受けてきた受動的な学習、個人の中に知識を蓄積するような学習から、主体的に学ぶこと、関係の中で学ぶこと、おとなになっても変化を続けていくことに学習としての意味があると認識を転換していることを示している。</p>                                                                                                                                                           |            |         |             |                |                  |
| <p>【B】母親たちは、知識を得ることでよい子育てができる、子どもの育て方を学べると思っ<br/>て『教室』に参加した。しかし保育室活動を経験し、子育ての経験を通しておとなが学<br/>ぶこと、子どもたちがなかまの関係の中で育つこと、その関係を豊かに支えることがおと<br/>なの役割であること、関係の中で子どもをとらえることが大切だととらえている。「子ど<br/>もの育て方」のようなノウハウとしての育児観から、おとなの「事実を見る目」、子ども<br/>の成長をとらえるおとなの力を培うことへと、育児観を転換させている。</p>                                                                                                                    |            |         |             |                |                  |
| <p>( 2 ) 子育て期の女性たちが、子どもを保育室にあずけて学ぶ公民館保育室活動におい<br/>て、「子育ては女性の役割」とされ家庭の中で受け身の関係に置かれている自分をとらえ<br/>返し、なかまの関係の中で主体的に学ぶことを経験している。それは、学校教育の中でし<br/>み込んだ知識を受け止め増やすような学習観を転換する力となり、ジェンダーの視点か<br/>ら子育て期のおとなの女性が学ぶ意味を示している。</p> <p>同時に、女性たちは子どもと自分との関係をとらえ返し、おとなも子どもも人とのかかわ<br/>りの中で育つことを実感し、「今までは本当のかかわりを知っていなかったこと」に気づ<br/>いている。この言葉には、子どもとおとなの関係、夫と妻との関係など、他者との関係<br/>を組みかえていくような意識のありようが示されている。</p> |            |         |             |                |                  |
| [ 2 ]                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |            |         |             |                |                  |
| 著作権の関係で解答例を示せない。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |            |         |             |                |                  |

【出題の意図】

[1]

国立市公民館の保育室活動における学習は、学習観・育児観ともに現代につながる問題を映し出している。学校教育と異なる社会教育の学び、おとなの学習のダイナミズムから、性別役割分業を変えていく意識、関係の中で人間の成長・発達をとらえるみかたを読み解くことができる。それは子育ての経験によりおとなの発達が促される mutuality(エリクソン)の考え方につながっている。

文章の中では、学習者の気づきの言葉に「～だと思っていました」という〈反語〉が多用されており、実際の気づきの中身は隠されている表現となっている。このことから、回答では、文章の意図を正確に読み取ることと、受験生の自由な表現を、ともに促したいと意図した。

[2]

著作権の関係で解答例を示せない。

合否判定の方法及び基準

入学試験は文学研究科のアドミッションポリシーに基づき、これを満たす学生を募集することを目的に実施しています。

合否判定については、本研究科のアドミッションポリシーを満たすことを、総合的な視点により合否を判断しております。